

# 豊川市公民館・生涯学習会館再編方針

令和2年3月

教育委員会生涯学習課

## 目 次

1	公民館及び生涯学習会館の現状と課題	1
(1)	現 状	1
①	施設設置の目的及び経緯	1
②	施設設置の状況	2
③	公民館・生涯学習会館の利用状況	4
(2)	課 題	5
①	人口減少・少子高齢化への対応	5
②	厳しい財政状況への対応	7
③	施設老朽化等への対応	7
2	市の管理方針	8
(1)	豊川市公共施設等総合管理計画	8
①	長寿命化の実施方針	8
②	統合や廃止の推進方針	8
(2)	豊川市公共施設適正配置計画	8
(3)	豊川市地区市民館適正配置方針	9
3	施設の評価	9
(1)	施設評価	9
(2)	平成30年度公民館施設概況調査結果	10
4	公民館・生涯学習会館の再編にあたっての基本方針	11
(1)	上位計画とのすり合わせ	11
(2)	長寿命化の取り組み	11
(3)	社会教育施設の現状と新施設の必要標準機能	12
(4)	社会教育施設の基本モデル（新築）	13
(5)	社会教育施設の将来計画と面積削減目標	13
5	再編施設の管理・運営にかかる考え方	15
(1)	基本方針	15
①	社会教育施設の条例の一本化	16
②	再編後の社会教育施設名称（案）	16
(2)	各中学校区の社会教育施設の今後の方向性	16
(3)	現公民館の営繕計画	18
①	公民館営繕計画（長寿命化計画）の基本方針	18
②	長寿命化改修の基本方針	18
③	公民館の営繕計画	19
6	計画推進に向けての課題	20
(1)	生涯学習会館の複合化の検討	20
(2)	公民館の改修・改築の具体化	20
(3)	公民館・生涯学習会館の条例改正に向けて	21

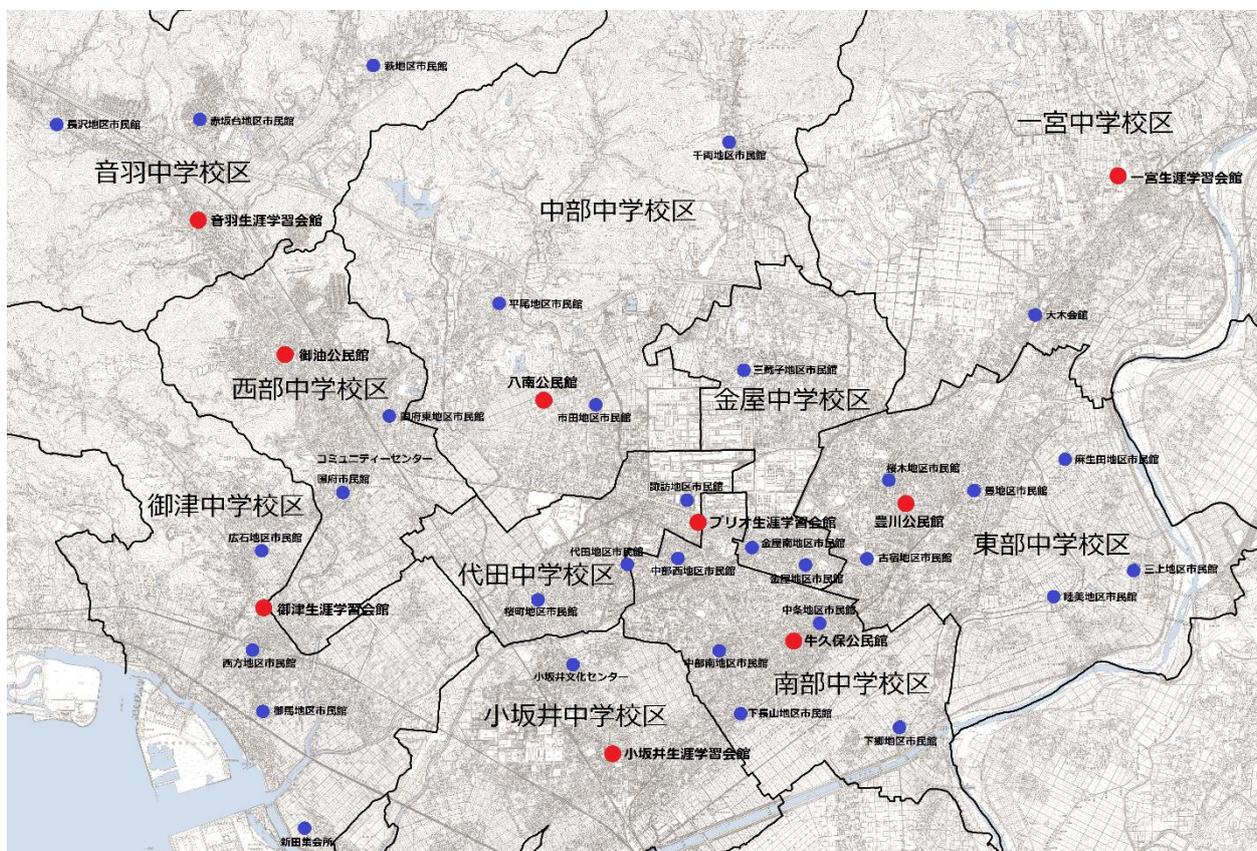
# 1 公民館及び生涯学習会館の現状と課題

## (1) 現 状

### ①施設設置の目的及び経緯

公民館は、社会教育法に基づき市町村が設置するもので、その設置目的は「市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する」と定められています。

豊川市では、昭和49年から55年にかけて条例に基づき4公民館を設置し、中学校区単位を基本とした社会教育施設として、館ごとに運営委員会を設けその運用にあたっており、地域コミュニティの拠点施設である地区市民館（連区もしくは小学校区単位に設置）とともに、地域生涯学習を推進するための施設として活用されています。なお、代田中学校区及び金屋中学校区には公民館が設けられていませんが、両中学校区については生涯学習指導員を勤労福祉会館（平成24年以降はプリオ生涯学習会館）に配置し、校区内の地区市民館等を利用し地域生涯学習の推進を図っています。



第1図 公民館・生涯学習会館の位置図

一方、生涯学習会館は、公民館同様の中学校区単位の施設として合併した旧4町の各地区に設置しており、条例（「豊川市生涯学習会館条例」平成19年12月条例第65号）によりその設置目的が「地域における実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行うとともに、市民自らの生涯学習活動に資するため」と定められています。公民館同様に社会教育施設と位置づけられ、使用料の減免や施設予約において地区優先の制度はありませんが、中学校区の地域生涯学習を推進するための施設として利活用されています。ただし、平成18年の旧一宮町との合併の際に、文化会館を転用して新たに生涯学習会館条例を設け生涯学習施設と位置づけたため、地区市民館に近い性格を有する旧市域の公民館と一本化を図ることができないまま、中学校区単位の社会教育施設として制度の異なる公民館と生涯学習会館（表1）が並存する状況が現在も続いています。このように、豊川市の場合、地区市民館・公民館・生涯学習会館全てが地域生涯学習を推進する施設として活用されており、施設単位を基本として38名の生涯学習推進員を委嘱し、またそれを中学校区単位の10名の生涯学習指導員（公民館・生涯学習会館に配置される教員OB）がコーディネートし、地域生涯学習の推進を図っています。なお、平成24年度には、市域生涯学習推進の要となる「とよかわオープンカレッジ」の活動拠点として、市中心部のプリオビル4階にプリオ生涯学習会館が整備され、（一社）とよかわオープンカレッジとの協働により市域全体の生涯学習の推進が図られています。

	条 例	使 用 料	管 理・運 営	館 長
公民館	豊川市公民館設置及び管理に関する条例	運営委員会が協力費を徴収し自主事業に充当	施設管理は市直営。自主事業の運営は運営委員会。	地元選出
生涯学習会館	豊川市生涯学習会館条例	条例に基づき使用料を徴収。使用料は市の歳入。	すべて市直営	生涯学習課長が兼務

第1表 公民館と生涯学習会館の制度の違い

## ②施設設置の状況

現在市内には条例に基づき設置した公民館4館、生涯学習会館5館があります（第2表）。各施設とも市の直営管理の施設ですが、4公民館に関しては館ごとに運営委員会を設け、公民館まつり等の企画・運営にあたっています。

No.	施設名	所在地	構造	建設年度	施設面積	敷地面積	敷地所有者
1	御油公民館	御油町見世賜185-1	RC2階	1973	488.13	1031.43	豊川市
2	牛久保公民館	牛久保町若子52-1	RC3階	1975	942.49	1200.73	八幡社
3	豊川公民館	西豊町2丁目225	RC2階	1976	913.18	2211	豊川市(学校用地)
4	八南公民館	野口町縄手下23	RC2階	1979	906.28	1540	豊川市
5	一宮生涯学習会館	上長山町小南口原1-500	RC2階	1986	1886.12	2518.61	小南口共有林組合
6	音羽生涯学習会館	赤坂町西裏47-1	RC2階	1980	1778.27	6926.25	豊川市
7	御津生涯学習会館	御津町西方日暮30	RC3階	1974	1678.49	2218.19	豊川市
8	小坂井生涯学習会館	宿町光道寺40	RC3階	1971	1812.84	5724.69	市・五社稲荷社ほか
9	プリオ生涯学習会館	諏訪3丁目300(プリオ4F)	RC造	—	843.01	—	市がフロア所有

第2表 公民館・生涯学習会館基礎データ

また、校区・連区・地区市民館と公民館・生涯学習会館との対応関係は第3表のとおりであり、公民館のある地区には地区市民館が無い場合があります。

中学校区	小学校区	連区	社会教育施設	地区市民館等
東部中学校	東部小学校	睦美連区	豊川公民館	睦美地区市民館
		麻生田連区		麻生田地区市民館
		三上連区		三上地区市民館
	豊小学校	豊川連区		豊地区市民館
	桜木小学校			桜木地区市民館
豊川小学校	古宿連区	古宿地区市民館		
金屋中学校	三蔵子小学校	三蔵子連区		三蔵子地区市民館
	金屋小学校	金屋連区		金屋地区市民館
		金屋南連区		金屋南地区市民館
南部中学校	天王小学校	中条連区	牛久保公民館	中条地区市民館
		下郷連区		下郷地区市民館
	中部小学校	諏訪・中部西北連区		中部西地区市民館
		中部南連区		中部南地区市民館
		中部東連区		
	牛久保小学校	下長山連区		下長山地区市民館
牛久保連区				
代田中学校	代田小学校	諏訪連区	プリオ生涯学習会館	諏訪地区市民館
		代田連区		代田地区市民館
	桜町小学校	桜町連区		桜町地区市民館
中部中学校	平尾小学校	平尾連区	八南公民館	平尾地区市民館
	千両小学校	千両連区		千両地区市民館
	八南小学校	八南連区		市田地区市民館
西部中学校	国府小学校	国府東部連区	御油公民館	国府東地区市民館
		国府連区		コミュニティセンター国府市民館
		国府南部連区		
御油小学校	御油連区			
一宮中学校	一宮東部小学校	一宮東部連区	一宮生涯学習会館	
	一宮西部小学校	一宮西部連区		大木会館
	一宮南部小学校	一宮南部連区		
音羽中学校	長沢小学校	音羽連区	音羽生涯学習会館	長沢地区市民館
	萩小学校			萩地区市民館
	赤坂小学校			赤坂台地区市民館
御津中学校	御津北部小学校	御津連区	御津生涯学習会館	広石地区市民館
	御津南部小学校			西方地区市民館
				御馬地区市民館
			新田集会所	
小坂井中学校	小坂井東小学校	小坂井連区	小坂井生涯学習会館	小坂井文化センター
	小坂井西小学校			

第3表 地区市民館・公民館・生涯学習会館の配置状況

### ③公民館・生涯学習会館の利用状況

公民館と生涯学習会館の年間利用延件数・年間利用延人数の推移をみると、ともに延件数に大きく変動はないものの、1件当りの平均利用人数が年々減少しており、かつてと比べ稼働率に大きな変化はないものの、利用延べ人数が減少傾向にあることがわかります（第4表）。

年 度	御油公民館		牛久保公民館		豊川公民館		八南公民館		合 計		
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	1件当
16	1,193	20,963	2,047	34,766	3,191	41,063	1,163	20,280	7,594	117,072	15.4
17	1,188	18,179	2,049	34,759	3,073	39,603	1,230	26,079	7,540	118,620	15.7
18	1,272	22,881	1,947	32,935	3,038	35,283	1,218	20,752	7,475	111,851	15
19	1,281	18,463	1,933	31,227	2,942	34,433	1,161	19,728	7,317	103,851	14.2
20	1,153	16,315	1,716	22,661	2,949	30,083	1,040	17,503	6,858	86,562	12.6
21	1,238	17,627	2,126	21,359	3,273	34,026	1,460	18,821	8,097	91,833	11.3
22	1,268	17,068	2,093	21,440	3,146	35,578	1,520	20,246	8,027	94,322	11.8
23	1,309	16,849	2,113	19,968	2,839	28,727	1,490	18,899	7,751	84,443	10.9
24	1,304	16,507	2,192	25,350	2,895	29,483	1,515	19,437	7,906	90,777	11.5
25	1,257	18,625	2,122	25,217	3,134	30,160	1,410	17,949	7,923	91,951	11.6
26	1,309	18,837	2,115	22,358	3,112	29,480	1,412	16,364	7,948	87,039	11
27	1,330	18,060	1,702	23,080	3,023	29,691	1,470	17,168	7,525	87,999	11.7
28	1,395	17,990	1,745	23,261	3,069	27,970	1,297	17,267	7,506	86,488	11.5
29	1,480	17,682	1,825	24,374	3,009	27,772	1,212	15,361	7,526	85,189	11.3
30	1,485	17,881	2,418	33,794	3,167	27,955	1,433	19,701	8,503	99,331	11.7

年 度	一宮生涯学習会館		音羽生涯学習会館		御津生涯学習会館		小坂井生涯学習会		プリオ生涯学習会		合 計		
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	1件当
16	(1,440)	(41,784)		(23,601)	(2,550)	(40,138)	(3,095)	(42,930)					
17	1,610	45,868		(24,368)	(2,755)	(43,054)	(2,992)	(40,817)					
18	1,448	52,651	(1,618)	(23,621)	(2,647)	(40,568)	(2,931)	(38,658)			(8,644)	(155,498)	18.0
19	1,398	38,423	1,626	24,270	2,618	39,005	(2,559)	(27,406)			(8,201)	(129,104)	15.7
20	1,496	40,254	1,244	15,793	2,072	31,384	(2,931)	(35,115)			(7,743)	(122,546)	15.8
21	1,551	34,021	1,351	15,705	2,077	33,180	3,004	40,841			7,983	123,747	15.5
22	1,663	34,082	1,459	17,503	1,900	30,036	2,806	38,555			7,828	120,176	15.4
23	1,827	37,879	1,668	17,222	2,113	31,166	2,943	40,741			8,551	127,008	14.9
24	1,746	38,700	1,600	18,545	2,145	27,266	2,923	40,995	1,032	17,817	9,446	143,323	15.2
25	1,770	42,576	1,786	21,200	2,214	27,736	2,764	36,371	1,495	21,549	10,029	149,432	14.9
26	1,808	38,162	1,998	21,575	2,190	28,471	2,886	40,973	1,645	24,853	10,527	154,034	14.6
27	1,818	34,663	1,950	21,529	2,219	28,075	2,843	39,097	1,811	28,082	10,641	151,446	14.2
28	1,874	37,528	1,945	19,506	2,313	28,261	2,826	36,105	1,753	26,629	10,711	148,029	13.8
29	1,803	36,880	2,240	20,805	2,472	29,159	2,778	35,898	1,772	27,424	11,065	150,166	13.6
30	1,853	35,885	2,255	20,166	2,620	29,593	2,599	35,287	1,756	28,541	11,083	149,472	13.5

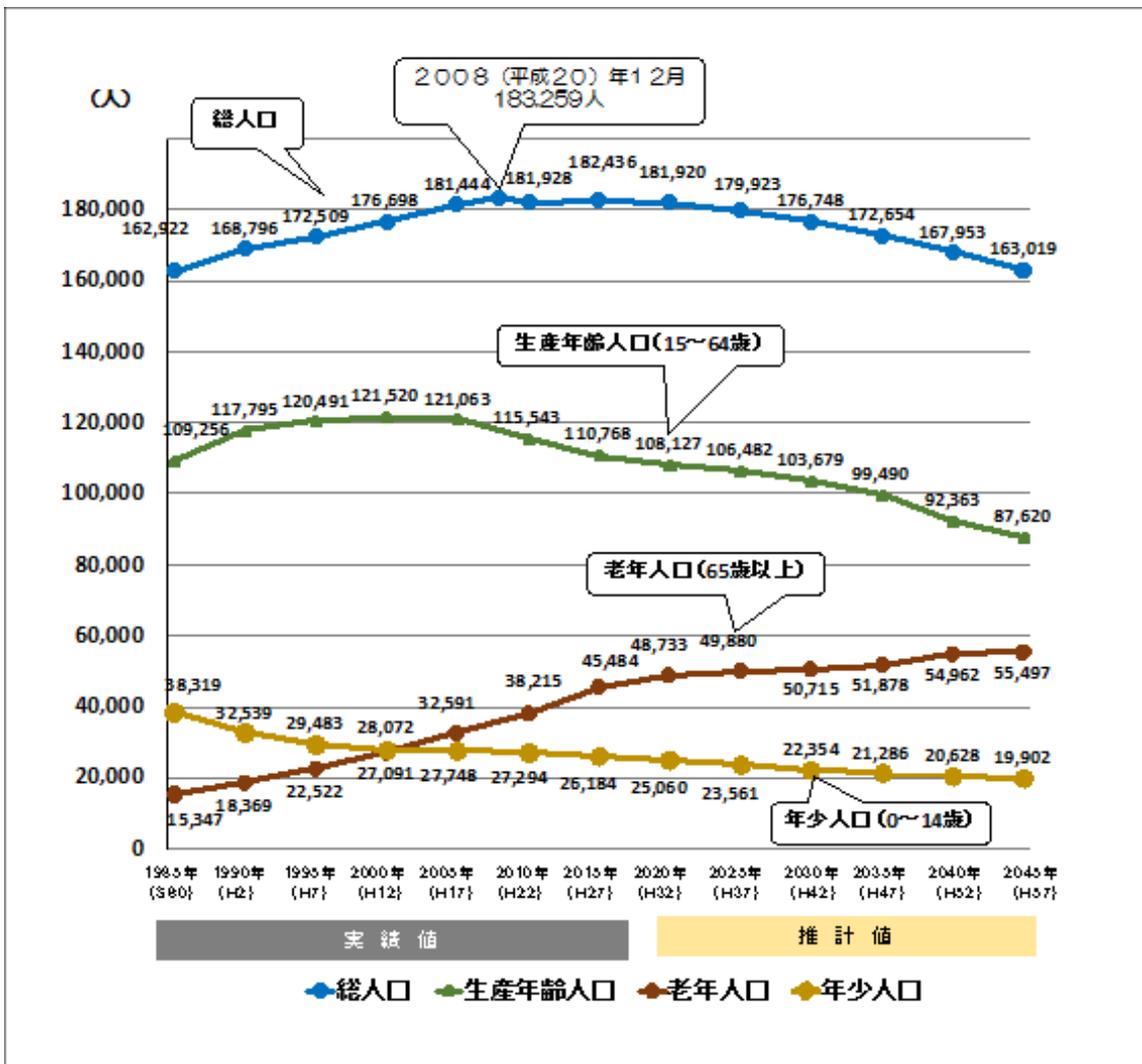
※網掛けは合併前の施設利用と合算

第4表 公民館・生涯学習会館の利用状況一覧

## (2) 課 題

### ①人口減少・少子高齢化への対応

豊川市の人口は2008年をピークに減少傾向にあり、公民館や生涯学習会館の大半が耐用年数を超える2045年には総人口163,019人となって、2015年と比較すると約89%の水準まで減少すると予想されます。一方、65歳以上の人口割合は、2015年では24.9%であったものが2045年には34.0%に増加することが予想され、これは1人の高齢者を支える生産年齢人口が2.43人から1.59人にまで減少するという、本格的な人口減少・少子高齢化を迎えることを意味します（出典：国立社会保障・人口問題研究所による本市の将来人口推計）。



※1 推計値は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2018（平成30）年推計）による。

第5表 豊川市の人口推計結果

一方、中学校区別での将来人口予測をみると、2015年の人口に対する2045年の人口の減少率で、音羽中学校区が31.0%、南部中学校区が21.2%、東部中学校区が19.7%などとなっており、代田中学校区・中部中学校区を除く校区において人口減少が見込まれます（第5表）。

こうした状況から、今後、公共施設利用者の総数自体の減少による余剰スペースの発生が懸念され、人口減少率が高い地区では施設の統合や他施設との複合化、人口減少率が低い地区では施設の老朽化に対する機能維持、といった課題の検討が必要となります。

ただし、公民館や生涯学習会館といった社会教育施設の利用者の多くは65歳以上の高齢者が占め、高齢者の健康づくりや生きがいくりの場としての生涯学習施設の存在意義は大きいと言えます。

今後の人口は、65歳以上の老年人口が増加傾向にあり、逆に14歳までの年少人口や、15歳から64歳までの生産年齢人口が減少していくことが推計されています。こうした推移から、今後中学校区程度の身近な場所にある社会教育施設の利用ニーズが高まり、社会教育施設の利用者が今後ますます増加することも推測され、また、避難所としての機能確保やユニバーサルデザインへの配慮といった施設機能の維持向上も求められているため、それらを総合して対応を図っていく必要があると言えます。

中学校区	2015年	2025年	2035年	2045年	増減率(%)
	(平成27年)	(令和7年)	(令和17年)	(令和27年)	
東部中	29,257	28,064	26,034	23,488	-19.7
金屋中	17,087	16,585	15,797	14,426	-15.6
南部中	24,398	23,306	21,394	19,233	-21.2
代田中	13,968	15,033	15,646	16,125	15.4
中部中	16,337	17,508	18,549	19,530	19.5
西部中	21,306	21,459	21,229	20,848	-2.1
一宮中	16,189	16,100	15,567	14,844	-8.3
音羽中	8,882	8,206	7,174	6,130	-31.0
御津中	13,315	12,728	11,875	10,848	-18.5
小坂井中	21,697	20,934	19,389	17,547	-19.1
合計	182,436	179,923	172,654	163,019	-10.1

※コーホート要因法に基づく推計（出典）国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2018年推計）

※増減率は2015年に対する2045年の増減率

※網掛けは2015年段階の人口20,000人以上、2045年段階の人口推計18,000人以上の中学校区

第6表 中学校区別の人口推計結果

## ②厳しい財政状況への対応

豊川市の財政状況において、平成 30 年度一般会計決算における道路・橋りょうなどのインフラを含めた公共施設の整備にかかる普通建設事業費は 76.5 億円であり、平成 7 年度ピーク時(167.2 億円)の約 45.8%まで縮小しています。一方、社会保障関係経費である扶助費は 147.8 億円であり、平成 13 年度の 36.2 億円から 16 年間で約 4.1 倍まで増加し、今後も増加していくものと予想されます。

今後も、公共施設の整備に多くの予算を振り分けることは困難であり、生産年齢人口の減少がますます進むことにより、税負担力が低下し、公共施設の維持更新経費に充てられる財源の不足も想定されます。

したがって、健全な財政運営を図っていくためには、できる限り経費の削減を図るとともに、適切な施設の維持管理を図ることが重要となります。

## ③施設老朽化等への対応

既述のとおり、豊川市が保有する公民館・生涯学習会館は、昭和 40 年代後半～50 年代に建築された建物が多く、2030 年以降に一齐に耐用年数を迎えるだけでなく、一部公民館の男女共用トイレや空調機器など設備類の老朽化に対して、既に利用者から施設の改善を求める声が多く寄せられています。また、ほとんどの施設において出入り口にスロープ設備を設けていますが、車イス用トイレは整備されておらず、公民館についてはエレベーター設備も無いなど、ユニバーサルデザインに配慮した対策は必ずしも十分とは言えません。

今後、建替えや大規模改修などに多額の維持更新経費が必要になることに加え、一齐に耐用年数を超えて設備投資を集中的に行わなければならない時期を迎えることが危惧されます。このような状況のもと、生涯学習会館については、平成 27 年 6 月に策定された「豊川市公共施設適正配置計画」に掲げられた小坂井・音羽・御津の 3 地区のリーディング事業の検討等に合せ適正配置や複合化を検討していくこととなり、小坂井地区については、既に平成 28 年度に始まった「小坂井地域交流会館（仮称）」の検討の中で、小坂井生涯学習会館の機能確保が具体的に検討されました。

一方、公民館については、中学校区別の人口減少・少子高齢化の現況を踏まえ、平成 29 年 6 月に策定された「豊川市地区市民館適正配置方針」を考慮しつつ今後検討を行い、類似施設の統廃合や長寿命化による維持更新経費の平準化の検討など、適切な施設マネジメントを行っていく必要があります。

## 2 市の管理方針

### (1) 豊川市公共施設等総合管理計画

施設類型ごとの計画（個別施策計画）の上位計画として位置づけられている豊川市公共施設等総合管理計画において、公民館・生涯学習会館に関して下記のとおり管理基本方針が定められています。

#### ① 長寿命化の実施方針

定期点検や「建物の日常的な維持管理手引き」を参考に早期に問題点を発見し、また維持管理計画を立てるなどし、管理方針に従い、予防保全の施設については長寿命化を図ります。

#### ② 統合や廃止の推進方針

今後 10 年間で取り組むべき施設の一つとして、公民館は、社会教育法に基づき整備された施設ではあるものの、実際の運営・利用実態は地域コミュニティ施設的な要素が大きく、同一利用圏域の他施設の集会室や会議室等諸室との機能面重複が多く見られます。したがって、新規整備を行わず既存施設の集約化を原則とし、指定管理者制度の導入等運営方法の見直しを検討するものとします。

特に、地区市民館を含む他コミュニティ施設と併せて、施設の配置や規模等の適正化について総合的に検討を行うものとします。

また生涯学習会館については、今後 10 年間に取り組むべき施設の一つとして、他施設との複合化や他施設への機能集約を図るとともに、コミュニティ施設の集約を積極的に推進し全体としての総量の縮減を図るものとします。

特に、小坂井生涯学習会館については、令和 3 年度から供用予定の複合施設「小坂井地域交流会館（仮称）」内に設置される予定です。

### (2) 豊川市公共施設適正配置計画

豊川市公共施設適正配置計画（平成 27 年 6 月）では、公共施設（庁舎、学校、保育園などの一般施設）縮減目標として、①今後 50 年間の一般施設の年平均トータルコストを 43%、②市の保有面積を 50 年間で 30%が設定されています。

この目標達成のための重点取組として、『機能重複するコミュニティ施設の集約・統廃合』が挙げられており、個別方針として①同一中学校区内のコミュニティ施設は機能統合による集約化の推進、②新規整備を行わず既存施設への集約化を原則、③稼動が低く利用者が限定される施設は、廃止又は地縁団体等へ施設譲渡を原則、が示されています。また、重点取組として重点度・緊急度が高いモデルエリアで取り組むリーディング事業として、3地区（小坂井、音羽、御津）が位置付けられているほか、令和 2 年 6 月策定予定の豊川市公共施設適正配置計画改訂版の中では、一宮・諏訪の 2 地区がリーディング事業に加えられています。

### (3) 豊川市地区市民館適正配置方針

公民館・生涯学習会館の再編を検討するにあたり、関係する地域コミュニティ施設の個別計画として「豊川市地区市民館適正配置方針」（平成 29 年 6 月）があります。その適正配置の指針として「今後の地区市民館については、『小学校区又は連区単位とし、公民館・生涯学習会館の配置状況を踏まえ、居住人口や地区住民の要望等を考慮して配置する』を基本的な考え方とし、50 年後に 26 館とするとともに、現有面積から 30%の縮減をすることをしています。

## 3 施設の評価

### (1) 施設評価

公民館・生涯学習会館の適正配置を検討するにあたり、「豊川市公共施設適正配置計画」（平成 27 年）に掲載された各施設の施設評価結果を見ると、公民館については 4 館とも評価区分が 1（大規模改修に適する）でしたが、最近の調査で御油公民館の評価区分が 1 から 2 に移行しています。また、音羽生涯学習会館の評価区分が 3 から 1 に移行し、生涯学習会館の中では御津生涯学習会館のみが評価区分 2 となっています。

生涯学習会館については、今後小坂井地区をはじめとするリーディング事業における施設の複合化の検討等を通じて施設評価結果を踏まえ改築や長寿命化を検討していくこととなりますが、公民館については、地区市民館の配置状況も考慮しながら、中学校区単位の社会教育施設（コミュニティ施設）や地域防災の拠点として機能を確保していく必要があります。

No.	施設名	評価区分	鉄筋腐食	中性化	圧縮強度	築年数	利用者数	備 考
1	御油公民館	2	Ⅱ	Ⅳ	Ⅲ	46	17,881	評価区分は1→2に移行 中性化はⅢ→Ⅳに移行
2	牛久保公民館	1	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	44	33,794	
3	豊川公民館	1	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	43	27,955	
4	八南公民館	1	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	40	19,701	
5	一宮生涯学習会館	—	—	—	—	32	35,885	構造体耐久性調査対象外
6	音羽生涯学習会館	1	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	39	20,166	H14に躯体改修 評価区分は3→1に移行
7	御津生涯学習会館	2	Ⅱ	Ⅳ	Ⅰ	45	29,593	
8	小坂井生涯学習会館	1	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	48	35,287	

※評価区分～圧縮強度の項目については、「豊川市公共施設適正配置計画」(平成27年)をベースに直近の調査結果を盛り込んだもの

※利用者数は平成30年度年間実績

※評価区分 1 は大規模改修に適する、2 は中規模改修に適する、3 は改築あるいは全面的な補修の検討が必要であるとされる

### 第7表 公民館・生涯学習会館の施設評価結果一覧

## (2) 平成 30 年度公民館施設概況調査結果

公民館・生涯学習会館の再編方針を検討するにあたり、施設の耐震診断・エレベーターの設置の可否及び設置費用・既存不適格の存否等の概況を把握する必要があり、平成 30 年度に調査を行いました。

調査は2公民館（御油・牛久保公民館）の詳細調査を行った上で、その調査結果を援用し、残り2公民館（豊川・八南公民館）の所見を示しています。

### ①御油公民館

新たな調査結果を踏まえ、施設評価の評価区分が「区分1」から「区分2」に移行しました。構造上の状況から、耐震補強を行い建物の継続利用を行ってもよいが、建物の改修費用の費用対効果、設置できるエレベーターの大きさ（2人用）、コンクリートの中性化の進行状況を踏まえ、また他の公民館と比べ小規模で機能面積も確保できていないことから、長寿命化を図る効果は低いと思われます。公民館という機能を今後も継続していく場合は、建て替えの計画を策定し、コンクリートの中性化や  $I_s$  値の状況を踏まえ、遅延のない計画遂行が必要です。



### ②牛久保公民館

新たな調査結果でも評価区分は「区分1」のままであり、構造上の状況から見ても、躯体の劣化はほとんど見受けられず、定期的な建物のメンテナンスを継続することで施設の継続利用は可能と考えられます。3階建ての施設のため、ユニバーサルデザインの観点からエレベーターを設置し、 $I_s$  値も 0.65 であるから、耐用年数 80 年とした長寿命化を念頭に置いて老朽化した部分を改修することで継続的な利用をすることが費用対効果は高くなります。



### ③豊川公民館

建物上は、外観目視では良好な状態を保っており、同一時期に建てられた建物の構造上の支障は少ないことから、同じ状況とすると耐用年数 80 年を目指した長寿命化を視野に入れた継続利用が可能と考えられます。ただし、エレベーター棟の増築は敷地の関係から困難と考えられます。

室内側のコンクリート中性化にも特筆すべき内



容は見られず、構造体を改修しないときは老朽化した部分を改修し、継続利用をすることが費用対効果は高くなります。

#### ④八南公民館

建物上は、外観目視では良好な状態を保っており、同一時期に建てられた建物の構造上の支障は少ないことから、同じ状況とすると耐用年数 80 年を目指した長寿命化を視野に入れた継続利用が可能と考えられます。ただし、エレベーター棟の増築は敷地の関係から困難と考えられます。



室内側のコンクリート中性化に若干注視すべき内容がありますが、構造体を改修しない限りは十分な耐震性能が確保されるため、老朽化した部分を改修し、継続利用をすることで費用対効果が高くなります。

## 4 公民館・生涯学習会館の再編にあたっての基本方針

### (1) 上位計画等とのすり合わせ

今後、地区の社会教育施設（コミュニティ施設）の管理・運営をより効率的・効果的に行っていくため、中学校区単位の社会教育施設の一元化を図る必要があることから、平成 29 年度に基本計画が策定された「小坂井地域交流会館（仮称）」を一つのモデルとし、2021 年春の供用開始に合わせ、公民館及び生涯学習会館の条例・制度の一本化を図る予定です。そして、地区の生涯学習会館については、小坂井地区の検討に引き続き、他のリーディング事業検討地区の再編計画の進捗等を見据えながら施設の複合化・長寿命化等を検討していきます。また、4 公民館については、施設の老朽化の状況を鑑み、平成 30 年度に実施した施設概況調査結果を踏まえ、長寿命化対策あるいは建替え計画について検討を加え、かつ地区市民館の適正配置方針や、学校施設の長寿命化計画と整合を図りながら、今後の改修方針を検討し、別途営繕計画を定めました（後述）。

なお、施設再編にあたっては、市域生涯学習の拠点となっているプリオ生涯学習会館を、市全体の生涯学習センターと位置づけるとともに、公民館のない代田中学校区、金屋中学校区については、中学校区単位の生涯学習の振興を図る上で、将来的に地区生涯学習の拠点機能を確保していく必要があります。

### (2) 長寿命化の取り組み

RC 造の 4 公民館については、定期点検等を実施するとともに、築後約 30 年のタイミングで事後保全策としての修繕（外壁・屋上防水等）に努めており、当初の更新周期は  $T \times 1.2$  倍の 60 年を想定していましたが、平成 30 年度に実施した施設概況調査の結果を踏まえ、御油公民館を除く 3 公民館については、適切

な修繕を加えることで、更新周期を T×1.6 倍の 80 年とすることが検討課題となっています。

また、同じく RC 造の小坂井生涯学習会館を除く一宮・音羽・御津生涯学習会館についても、リーディング事業の検討の際に、必要に応じ既存施設の長寿命化の検討も行っていく予定です。

### (3) 社会教育施設の現状と新施設の必要標準機能

現在の社会教育施設は、それぞれの施設の建設経緯や合併時の事情により施設規模・施設内容が異なりますが、中央施設として活用されているプリオ生涯学習

#### <公民館>

	豊川公民館	牛久保公民館	八南公民館	御油公民館	平均面積	新施設スタンダードモデル
	RC二階建て	RC三階建て	RC二階建て	RC二階建て		
150～160人程度の定員の大部屋	集会室 159.75㎡	集会室 149.75㎡	集会室 151.68㎡	大会議室 155.52㎡	154.2㎡	160㎡
30～50人程度の定員の和室を2室セットを基本	研修室1 80.00㎡	研修室1 79.88㎡	和室2 78.20㎡		79.4㎡	30㎡
	研修室2 46.88㎡	研修室2 49.80㎡	和室1 46.15㎡	第1会議室 40.29㎡	45.8㎡	30㎡
40～70人定員の会議室	会議室 79.75㎡	大会議室 81.92㎡	会議室 72.00㎡		77.9㎡	70㎡
定員30人未満の会議室	小会議室 33.80㎡	小会議室 47.88㎡	小会議室 31.00㎡	第2会議室 32.40㎡	36.3㎡	30㎡
調理室	調理室 79.75㎡	調理講習室 79.71㎡	調理講習室 80.00㎡	調理実習室 38.84㎡	69.6㎡	80㎡
合計	479.93㎡	488.94㎡	459.03㎡	267.05㎡	423.7㎡	計6部屋400㎡
(施設延床面積)	(913.18㎡)	(942.49㎡)	(906.28㎡)	(488.13㎡)		

※現状の公民館を参考に、新施設のスタンダードモデルの貸出し施設の機能面積を合計400㎡(6部屋)と設定

#### <生涯学習会館>

※参考

	一宮	音羽	御津	小坂井	平均面積	新施設ラージモデル	小坂井地域交流会館(仮称)
	RC二階建て	RC二階建て	RC三階建て	RC三階建て			
定員100人以上の大部屋	集会室 499.5㎡	集会室 172.09㎡	集会室 270.0㎡	集会室 226.43㎡	292.0㎡	200㎡	集会室 197.20㎡
20～60人程度の定員の和室を2室セットを基本	教養娯楽室A 89.38㎡	和室1 28.12㎡	和室 77.5㎡	和室2 51.49㎡	61.6㎡	40㎡	和室① 27.58㎡
	教養娯楽室B 88.56㎡	和室2 28.12㎡		和室1 38.87㎡	51.85㎡	40㎡	和室② 16.88㎡
30～70人定員の会議室が2～4部屋			研修室 101㎡	研修室 121.5㎡	111.3㎡	70㎡	会議室④ 74.81㎡
	談話室1 42.07㎡	会議室1 78.40㎡	第1講義室 80㎡	講義室 55.89㎡	64.1㎡	50㎡	多目的室① 96.19㎡
	談話室2 42.07㎡	会議室2 68.73㎡	第2講義室 80㎡		63.6㎡	40㎡	
			第4講義室 80㎡		80.0㎡		
定員30人未満の会議室が0～3部屋			第3講義室 40㎡	第2会議室 40.50㎡	40.3㎡		会議室① 41.12㎡
			小会議室 38.75㎡	第1会議室 32.31㎡	35.5㎡	30㎡	会議室③ 42.75㎡
				第3会議室 32.62㎡	32.6㎡		多目的室② 42.75㎡
調理室		調理室 33.54㎡	調理室 80㎡	調理室 68.85㎡	60.8㎡	80㎡	調理室 90.39㎡
合計	761.58㎡	409.00㎡	847.25㎡	668.46㎡	671.6㎡	計8部屋550㎡	629.67㎡
(施設延床面積)	(1694.69㎡)	(1052.77㎡)	(1678.49㎡)	(1645.57㎡)			

※現状の生涯学習会館を参考に、新施設のラージモデルの貸出し施設の機能面積を合計550㎡(8部屋)と設定

※小坂井地域交流会館(仮称)については、図書館の学習利用機能が想定される会議室②は対象施設から除外した

## 第8表 公民館・生涯学習会館施設の現状と新施設の必要標準機能

会館を除く4公民館・4生涯学習会館のそれぞれの貸出し施設の内容は第8表のとおりです。こうした公民館・生涯学習会館の施設規模・内容を考慮しつつ、これら施設を新築する際の必要標準機能を精査し、主に現状の公民館を参考に中学校単位の新施設のスタンダードモデルを設定します。また、施設規模が比較的大きくエレベーター施設を備えている現状の生涯学習会館を参考に、中学校区単位の新施設のラージモデルを設定します。

#### (4) 社会教育施設の基本モデル（新築）

社会教育施設の建替え（新築）にあたっては、今後の人口減少を踏まえ、現在の利用状況や求められる役割などを勘案し、他の施設の機能との複合化を考慮しつつ、現状の公民館・生涯学習会館の施設規模等を考慮し2種類の基本モデルを設定し（第8表）、将来（2045年）の地区居住人口を目安に検討することとします。また、他施設との複合化により、共用面積の低減化に努めます。

##### 《施設概要》

	Aタイプ (スタンダードモデル)	Bタイプ (ラージモデル)
地区居住人口	18,000人未満	18,000人以上
機能面積	約400㎡	約550㎡
仕様	集会室160㎡、和室2室60㎡、 会議室70㎡、会議室30㎡、 調理室80㎡ 計6部屋、EV設置	集会室200㎡、和室2室80㎡、 会議室70㎡、会議室50㎡、 会議室40㎡、会議室30㎡、 調理室80㎡、計8部屋、EV設置

第9表 社会教育施設の基本（新築の場合）

#### (5) 社会教育施設の将来計画と面積削減目標

現有の社会教育施設を今後も維持した場合は、人口減少と少子高齢化の影響から将来的に施設の維持が出来なくなるため、総機能面積及び総施設面積の削減が喫緊の課題と言えます。市域施設として活用されているプリア生涯学習会館を含めた4公民館・5生涯学習会館の現機能面積（貸出し施設面積）の総合計は4,806.94㎡となります。これを将来機能面積の設定において、2045年の地区居住人口に応じて適用することとし、第9表を踏まえスタンダードモデル、ラージモデルを設定すると、代田中学校区と金屋中学校区については、現状どおり個別の地区施設を設けないと仮定した場合、総面積は4,645.70㎡となり、機能面積では約3.4%の削減が見込まれます。また、現施設面積の総合計は10,164.61㎡ですが、これに対し将来施設面積は7,501.01㎡と想定でき、約26.2%の削減が見込まれます（第9表）。

また、これから50年後に向けては人口減少に伴う校区の再編や、文化施設やコミュニティ施設を含めた地区施設再編の動向を見極めながら、公共施設全体の

総面積の縮減にも努め、豊川市公共施設適正配置計画の方針を念頭に入れながら、保有面積全体の3割縮減を目指します。

また、リーディング事業として位置づけられている小坂井地域交流会館（仮称）を始めとする地区施設の複合化の検討を進めるとともに、学校施設の改修に合わせ、学校施設と公民館等との複合化や共用化を検討し、人件費やランニングコストも含めたトータルコストを削減することにより、将来的に施設が適切に維持できるように努め、施設の長寿命化の促進と合わせ、社会教育施設の維持管理コストの更なる削減を目指します。

このように社会教育施設の将来計画を立て、面積削減やコスト削減を図ることにより、本格的な人口減少・少子高齢化に対応した施設を目指します。

なお、再編後の施設の位置づけについては、現状でも中央施設の機能を有するプリオ生涯学習会館を正式に豊川市全体の生涯学習センターと位置づけ、代田・金屋中学校区の地区センター機能は、当面の間、現状どおりプリオ内で確保し、両地区における地域生涯学習の推進については、地区内のあらゆる公共施設の活用を図ることとします。そして、他の8中学校区については、当面は既存施設を生かし、それぞれの地区生涯学習センターと位置づけます。

地区別現状施設	現機能面積	将来機能面積	現施設面積	将来施設面積	再編後の施設の位置づけ
【東部中学校区】 豊川公民館	479.93	ラージモデル 550.00	913.18	900.00	地区生涯学習センター
【南部中学校区】 牛久保公民館	488.94	ラージモデル 550.00	942.49	900.00	地区生涯学習センター
【中部中学校区】 八南公民館	459.03	ラージモデル 550.00	906.28	900.00	地区生涯学習センター
【西部中学校区】 御油公民館	267.05	ラージモデル 550.00	488.13	900.00	地区生涯学習センター
【代田中学校区】 プリオ生涯学習会館	425.70	ラージモデル 425.70	843.01	843.01	市全体の生涯学習センター 兼代田地区生涯学習センター 兼金屋地区生涯学習センター
【金屋中学校区】 施設なし	0.00	0.00	0.00		
【一宮中学校区】 一宮生涯学習会館	761.58	スタンダード 400.00	※図書館除く 1,694.69	650.00	地区生涯学習センター
【音羽中学校区】 音羽生涯学習会館	409.00	スタンダード 400.00	※図書館除く 1,052.77	650.00	地区生涯学習センター
【御津中学校区】 御津生涯学習会館	847.25	スタンダード 400.00	1,678.49	650.00	地区生涯学習センター
【小坂井中学校区】 小坂井生涯学習会館	668.46	ラージモデル 820.00	※図書館除く 1,645.57	1,108.00	地区生涯学習センター
合 計 (削減率)	4,806.94	4,645.70 (3.4%減)	10,164.61	7,501.01 (26.2%減)	※中央施設1館(地区施設と兼) ※地区施設8館

※将来施設面積については、建替えの際の他施設との複合化等を想定の上、スタンダードモデルが650㎡・ラージモデルが900㎡と設定した。

※代田地区については、2045年の居住人口ではスタンダードモデルであるが、中央施設であるプリオ生涯学習会館と兼ねるためラージモデルとした。また、プリオ生涯学習会館が代田中・金屋中校区の境界に位置することを鑑み、当面は現プリオ生涯学習会館が、代田・金屋地区の生涯学習センターを兼ねることとする。

※小坂井生涯学習会館については、将来機能面積、将来施設面積ともに令和3年春に供用開始の「小坂井地域交流会館（仮称）」のコミュニティ機能も含めた設計面積を記載している。

## 第10表 社会教育施設の将来計画と面積削減目標

また、施設の長寿命化について文部科学省の『学校施設の長寿命化計画策定に係る手引』では、学校施設の基本的な方針として、従来の事後保全や改築中心の考え方から、予防的な修繕等を実施する予防保全や、大規模改修を行う方針への転換が示されています。この考え方では、突発的な事故や費用発生を減少させることができ、施設の不具合による被害のリスクを緩和することや、改修、日常的な費用を平準化し、中長期的なトータルコストを下げる事が可能となります。

総務省の個別施設計画の策定のためのマニュアル・ガイドライン等（平成 29 年 5 月 31 日）では、社会教育施設等の計画策定の際には、この学校施設の長寿命化計画策定にかかる手引きを参照することとしており、公民館の営繕計画を策定するにあたっては、耐用年数を 80 年と想定した予防保全や大規模改修の検討を行う中で、施設の長寿命化を促進し、ライフサイクルコストの削減及びコストの平準化に努めました。

## 5 再編施設の管理・運営にかかる考え方

### （1）基本方針

平成 24 年度に設置したプリオ生涯学習会館は、平成 25 年度から一般社団法人として運営されているとよかわオープンカレッジの主会場となり、全市的な生涯学習推進の中核施設として官民連携のもとに活用されています。よって、再編の際には各地区の生涯学習施設とは一線を画し、機能面からは市全体の生涯学習センターとしての位置づけを明確にしていきます。

また、豊川市公共施設等総合管理計画の公民館の方針として「指定管理者制度の導入等運営方法の見直しをするものとする」とありますが、ランニングコストの削減効果が期待できず、指定管理の受け皿のあり方にも課題が多く、直営の方が望ましいと考えられます。よって、再編した中学校区単位の地区生涯学習施設の管理・運営については、現行の生涯学習会館同様、館長は生涯学習課長が兼ね直営管理とし、再任用主事とパート職員により施設の維持管理及び貸出し業務を行い、講座開催等の事業運営及び校区内の地域生涯学習講座及び放課後子ども教室のコーディネートについては、教員 OB の生涯学習指導員が主にその業務を担うことを基本とします。ただし、複合施設において施設管理を行う場合には、施設全体の管理・運用を踏まえ、最も効率的な職員配置を検討します。

再編にあたっては、現行の生涯学習会館条例の改正により公民館・生涯学習会館の一本化を図る予定ですが、一本化した施設の名称については、既存の公民館や生涯学習会館の名称にこだわらず、新たに名称をつける予定です。

上記を踏まえ、基本方針をまとめると以下のとおりとなります。

① **社会教育施設の条例の一本化**（2021年春の小坂井地域交流会館の供用開始に合わせ新条例制定）

- ・現状のプリオ生涯学習会館を、社会教育法に基づく市全体の生涯学習センターと位置づけます。
- ・4公民館及びプリオ生涯学習会館以外の生涯学習会館については、社会教育法に基づく中学校区単位の社会教育施設と位置づけます。
- ・再編施設の管理運営体制：現行の生涯学習会館にならない市直営に一本化します。
- ・職員体制：施設長（生涯学習課長）、主事（再任用職員）、事務パートを基本  
※夜間はシルバー人材センター委託等を検討します。
- ・開館時間・休館日：午前9時～午後10時まで開館、休館日は月曜及び年末年始を基本とします。
- ・使用料等の定め：部屋の面積等に応じた新たな使用料基準を設け全館に適用  
※公民館の運営委員会をなくし、協力費制度を使用料徴収に改めます。
- ・使用料減免：現行の減免制度の維持及び講座から派生したサークルの減免等を検討します。
- ・施設予約の基本：地区施設として有効活用を図るため、地域優先・各施設活動認定団体優先の施設予約制度を検討します。

## ② 再編後の社会教育施設名称（案）

- ・中央施設の名称として、現在のプリオ生涯学習会館をプリオ生涯学習センターとします。また中学校区単位の地区施設については、現施設の地区名を冠し〇〇生涯学習センターとします。

## （2）各中学校区の社会教育施設の今後の方向性

### 東部中学校区（豊川公民館⇒豊川生涯学習センター）1977年築

今後も東部中学校区の社会教育施設として長寿命化を図ります。今後の協議により複合化する場合は、隣接する学校施設（東部中学校）と複合化や共用化を検討します。

なお、将来的な建て替えの際には、エレベーターの設置を検討します。

### 中部中学校区（八南公民館⇒八南生涯学習センター）1980年築

今後も中部中学校区の社会教育施設として長寿命化を図ります。今後の協議により複合化する場合は、隣接する学校施設（八南小学校）と複合化や共用化を検討します。

なお、将来的な建て替えの際には、エレベーターの設置を検討します。

### 南部中学校区（牛久保公民館⇒牛久保生涯学習センター）1976年築

今後も南部中学校区の社会教育施設として長寿命化を図ります。改修にあわせ

てエレベーターの設置を検討します。

なお、将来的な建て替えの際には、学校施設（牛久保小学校）との複合化や、新たな場所への複合施設の整備を検討します（うしくぼ児童館など）。

#### **西部中学校区（御油公民館⇒御油生涯学習センター）1974年築**

西部中学校区の社会教育施設と位置づけます。施設概況調査の結果、長寿命化に向かないと判断されたため、現地もしくは他地点での建て替えを行います。建て替え時には隣接する御油松並木資料館等との複合化を検討します。

#### **代田中学校区（現在、地区の社会教育施設は無し）**

プリオ生涯学習会館を「プリオ生涯学習センター」と名称変更し、市の中央施設として位置づけ、「代田地区生涯学習センター」の機能を確保できるように現行どおり代田中学校区担当の生涯学習指導員を配置します。

ただし、代田中学校区コミュニティ施設を新設する機運が高まった場合、新設も検討し、学校施設（代田中学校、代田小学校）や公共施設（代田地区市民館、交通児童遊園など）との複合化も検討します。

#### **金屋中学校区（現在、地区の社会教育施設は無し）**

プリオ生涯学習会館を「プリオ生涯学習センター」と名称変更し、市の中央施設として位置づけ、「金屋地区生涯学習センター」の機能を確保できるように現行どおり金屋中学校区担当の生涯学習指導員を配置し、当面は新たな生涯学習施設は設けないこととします。

ただし、金屋中学校区コミュニティ施設を新設する機運が高まった場合、学校施設（金屋中学校、金屋小学校）や公共施設（金屋地区市民館、金屋南地区市民館、東部地域福祉センターなど）との複合化も検討します。

#### **一宮中学校区（一宮生涯学習会館⇒一宮生涯学習センター）1986年築**

長寿命化の検討はせず、一宮地区再編計画の中で一宮庁舎への機能集約等を検討します。

#### **音羽中学校区（音羽生涯学習会館⇒音羽生涯学習センター）1981年築 2000年改修**

急傾斜地等災害の危険がある場所に立地しており、長寿命化の検討はせず、音羽地区再編計画の中で音羽庁舎への集約化等を検討します。

#### **御津中学校区（御津生涯学習会館⇒御津生涯学習センター）1974年築**

現施設は、鉄筋腐食強度がⅡ、コンクリート中性化による劣化度がⅣである上、建築年も生涯学習会館の中では小坂井に次ぐ古い建物であり、長寿命化の検討はしません。御津地区再編計画の中で御津庁舎等への集約化等を検討します。

## 小坂井中学校区（小坂井生涯学習会館⇒小坂井生涯学習センター）

小坂井地区公共施設再編整備基本計画に従い、支所・生涯学習会館・図書館・児童館機能を有する小坂井地域交流会館（仮称）を整備します（2021年供用開始予定）。

### （3）現公民館の営繕計画

#### ①公民館営繕計画（長寿命化計画）の基本方針

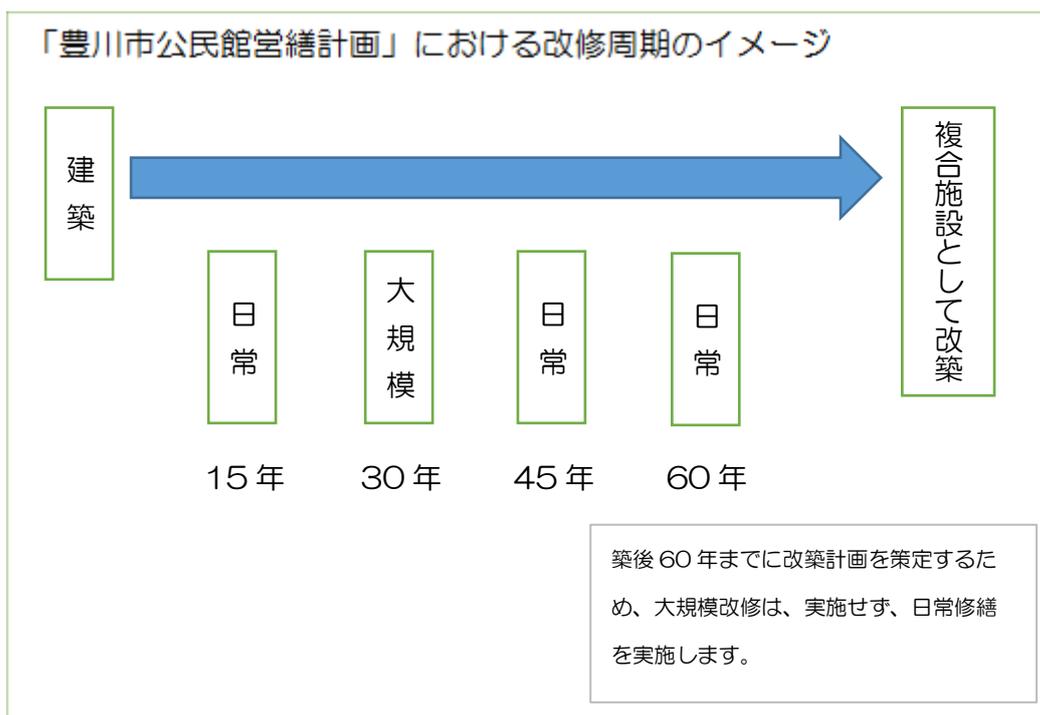
躯体が健全な3公民館（牛久保公民館・豊川公民館・八南公民館）については、耐用年数60年を80年程度に延長する長寿命化を念頭に置いた改修を基本方針とします。ただし、躯体が、築後80年まで耐震性能を保持できない御油公民館は、改築を基本方針とします。

#### ②長寿命化改修の基本方針

御油公民館を除く3公民館は、築後30年程度を経過した時点で、躯体の耐震性能保持に関して重要な屋根及び外壁の大規模改修を実施しています。よって、「豊川市公共施設中長期保全計画」の改修周期に合わせて、築後45年を目安として、日常修繕を実施します。

また、築後60年を経過した時点で、屋根及び外壁は、大規模改修の必要があります。ただし、公民館は、築後60年を経過するまでに、他の公共施設との複合化を前提とした施設の改築計画を策定して、築後80年以内に改築するため、築後60年を経過した時点で、大規模改修は実施せずに日常修繕を実施します。

なお、トイレのドライ化や男女別化、車椅子用のトイレの設置、LEDなどの高効率照明の設置、空調設備の増設及びエレベーターの設置等、耐用年数を延長することで必要となる設備を設置する改修については、財政状況や劣化調査報告を加味しながら、改修を検討します。



第2図 公民館改修周期のイメージ図

### ③各公民館の営繕計画

#### 御油公民館（御油生涯学習センター）

西部中学校区の社会教育施設としての機能を維持するため、今後 10 年以内に、西部中学校区の他の公共施設との複合化を前提として改築します。なお、改築する場所については、今後数年以内に決定します。

その後、築後 15 年を目安に日常修繕を実施し、築後 30 年を目安に大規模改修を実施します。

#### 牛久保公民館（牛久保生涯学習センター）

南部中学校区の社会教育施設として長寿命化を図ります。築後 45 年を迎える今後 10 年以内に基本設計及び実施設計を行い、屋根、内装、屋外の劣化した部分を補修します。また、機械設備、電気設備及び消防設備の主要設備を更新します。新たに追加設備としてトイレのドライ化や男女別化、車椅子用のトイレの設置、LEDなどの高効率照明の設置、空調設備の増設及びエレベーターの設置等を実施します。その後、築後 60 年までに、牛久保小学校などの牛久保地区内の他の公共施設と複合化や共用化を前提とした改築計画を策定し、築後 80 年以内に改築します。また、築後 60 年を目安に日常修繕を実施します。

#### 豊川公民館（豊川生涯学習センター）

東部中学校区の社会教育施設として長寿命化を図ります。築後 45 年を迎える

今後 10 年以内に基本設計及び実施設計を行い、屋根、外装、内装、屋外の劣化した部分を補修します。また、機械設備、電気設備及び消防設備の主要設備を更新します。新たに追加設備としてトイレのドライ化や男女別化、車椅子用のトイレの設置、LEDなどの高効率照明の設置及び空調設備の増設等を実施します。その後、築後 60 年までに、東部中学校と複合化や共用化を前提とした改築計画を策定し、築後 80 年以内に改築します。また、築後 60 年を目安に日常修繕を実施します。

### 八南公民館（八南生涯学習センター）

中部中学校区の社会教育施設として長寿命化を図ります。築後 45 年を迎える今後 10 年以内に基本設計及び実施設計を行い、屋根、外装、内装、屋外の劣化した部分を補修します。また、機械設備、電気設備及び消防設備の主要設備を更新します。新たに追加設備としてトイレのドライ化や男女別化、車椅子用のトイレの設置、LEDなどの高効率照明の設置及び空調設備の増設等を実施します。築後 60 年までに、八南小学校と複合化や共用化を前提とした改築計画を策定し、築後 80 年以内に改築します。また、築後 60 年を目安に日常修繕を実施します。

## 6 計画推進に向けての課題

### （1）生涯学習会館の複合化等の検討

すでに施設の複合化が予定されている小坂井地区を除く 3 地区（一宮・音羽・御津地区）の生涯学習会館のあり方について、それぞれの地区の公共施設再編整備基本計画に基づいた検討が必要です。

具体的には、現在策定中の「公共施設適正配置計画改訂版」の内容を踏まえ、ファシリティマネージメントの観点でリーディング事業として位置付けられている各地区の再編方針の中で、生涯学習会館を含めた公共施設の機能集約、複合化の検討を行い、地区住民の理解を得ながら計画を進めていくことが重要です。

### （2）公民館の改修・改築の具体化

公民館については、施設概況調査の結果等を踏まえ、御油公民館は改築、牛久保・豊川・八南の 3 公民館は長寿命化と今後の方向性を決めました。御油公民館については、現在地で改築をするのか、または、他の地点で改築をするのか建築場所の選定が大きな課題となります。

また、他の 3 公民館については、規模の大きな日常修繕をいつ行うのかが課題となります。地元関係者との意見交換を行いながら、劣化調査の状況等を踏まえ、具体的な改修計画を立てていく必要があります。

### (3) 公民館・生涯学習会館の条例改正に向けて

令和 3 年度当初の公民館・生涯学習会館の再編条例一本化実現に向けては、多くの課題を解決する必要があります。

具体的には、まずは統一単価の設定が挙げられます。現状の公民館の協力費、生涯学習会館の使用料の現状分析を行ったうえで、他市の類似施設との比較等を行いながら、適正な使用料単価を定める必要があります。

また、利用者の利便性向上の視点で、地域に根差した団体や、講座派生サークルなどの減免制度・優先予約について、統一ルールを定められるよう地域や利用者の声にも耳を傾けながら検討を行っていく必要があります。